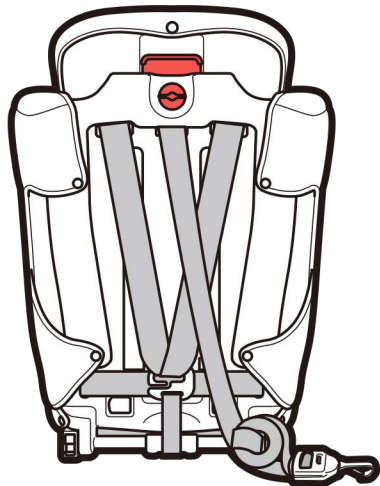


Cradle®

## クレイドル ハーネスジュニア i-Size



企画・販売元

株式会社 シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

www.ca-sansho.co.jp

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日 ※弊社休日は除く)

☎ 0120-034-017

受付時間 / AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

Cradle®

## クレイドル ハーネスジュニア i-Size

### 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、  
十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



R129/03



「取り付け方法」は、  
動画でもご紹介しています。



本装置は、月齢15カ月以上かつ身長76～150cmまでのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

## 目次

●ご使用になる前に	本装置について..... 2
	ご利用にあたって..... 2
	安全にご使用いただくために..... 3
	ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方... 7
	ISOFIX+トップテザーで取り付けできる座席... 9
	取り付けできない座席..... 10
	取り付けできる3点式シートベルト..... 11
	取り付けできないシートベルト..... 12
●各部の名称	..... 13
●組み立て方	..... 15
●各部の使い方	バックル・タンク..... 16
	ヘッドサポート..... 17
	肩ベルト..... 18
	インナークッション..... 18
	ISOFIX..... 19
	トップテザー..... 20
●チャイルドシートモード	ISOFIXコネクタ+
としての使い方	トップテザーを取り付けて使用する..... 21
	お子様の乗せ方..... 24
	お子様の降ろし方..... 25
●ジュニアシートモード	ご使用になる前に..... 26
としての使い方	ISOFIXコネクタ+
	3点式シートベルトを併用して使用する..... 28
	お子様の乗せ方..... 29
	お子様の降ろし方..... 30
●ご使用前の日常点検	チャイルドシートモードとして使用する場合..... 31
	ジュニアシートモードとして使用する場合..... 32
●お手入れのしかた	カバー類の取り外し方..... 33
	カバー類の取り付け方..... 35
	ベルトの取り付け方..... 37
	カバー・パッド・クッション..... 38
	本体・ベルト・バックル等..... 38
●困ったときは	..... 39
●保証規定／保証書	..... 42

## ご使用になる前に

### 本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)<sup>\*1</sup>に適合しており、身長が76～150cmまでのお子様を対象とした、R129(i-Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

<sup>\*1</sup>UN ECE R129は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社HP(QRコード→)をご覧ください。



本装置は、身長が76～105cm(生後15ヵ月～4歳頃)まではチャイルドシートモードとして、身長が100～150cm(3～11歳頃)まではジュニアシートモードとしてご使用いただけます。

ISOFIX取付金具とトップテザーアンカー<sup>\*2</sup>が装備されていれば、本装置は装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

<sup>\*2</sup>トップテザーは、ジュニアシートモードでは使用しません。

●車両の『取扱説明書』において「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合がありますので、『車種別適合表』を参照してください。

#### 〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用いただけません。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

### ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて...

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

#### 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

#### 注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

#### 補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。

# ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。



**身長が76cm未満および月齢が15ヵ月未満のお子様はご使用いただけません。**

**※本装置は安全上、後部座席に取り付けてご使用ください。**

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。また、他のものと交換しないでください。

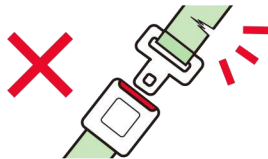
- 車両座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 本装置の肩ベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。肩ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しく調節してご使用ください。

- お子様を乗せる際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。

- 走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は危険ですので絶対にしないでください。

- 落下や衝突等により本装置が衝撃を受けた場合、外観に異常がなくても破損のおそれがありますので使用しないでください。

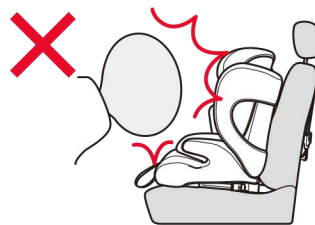
- 車両のシートベルトや本装置の肩・腰ベルトが傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



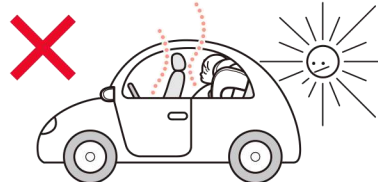
- バックルボタンの強さは安全規格上強めに設定されていますが、お子様の力でもタングが外れる場合があります。タングがバックルに確実にロックされているか必ず確認していただき、お子様にバックルボタンを押さないように指導してください。



- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。  
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。
- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。
- 車両の座席シートの材質・形状によっては、キズや跡が付く場合があります。とくに本革シート等の場合は、本装置と座席シートの間に、別売りの保護マット等を敷いてご使用ください。



- お子様を乗せたまま、車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



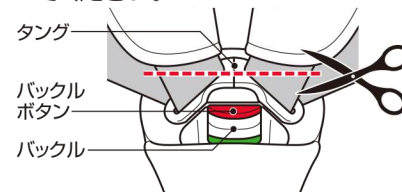
- ISOFIX・トップテザーがロックされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

- 本装置を取り付けた後に、座席のリクライニング操作をされた場合、再度取り付けの緩み等がないか確認をしてください。

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる場合があります。

- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください。(例:片側スライドドアのドア側座席など)

- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押ししてもタングがバックルから解除できない場合は、本装置ベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。

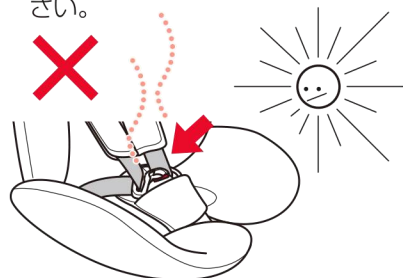
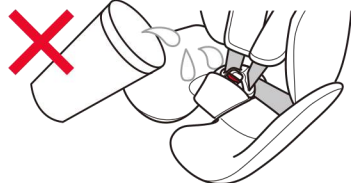


## ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

### ⚠️ 注意

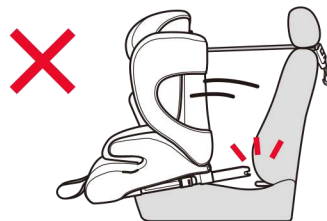
- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がり、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 可動座席または車両のドアに、本装置の剛性部分(プラスチック部分等)を挟まないでください。
- 炎天下での駐車時には、金属部分や樹脂部分などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際は、各部に触れて熱くないかを確認した上でご使用ください。
- 本装置を取り付ける際に、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- 本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。また、ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、「お客様相談窓口」へご相談ください。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。



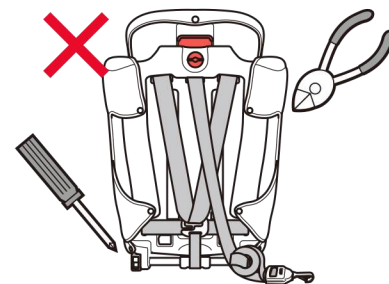
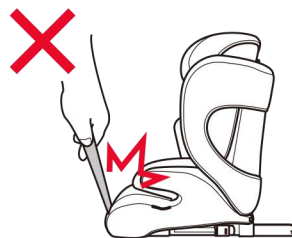
- 走行前に本装置が確実に固定されているか、必ず確認してからご使用ください。
- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください(本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く)。

### ⚠️ 注意

- ホコリの多い場所に放置しないでください。ISOFIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタまたは3点式シートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- 定期的には本装置に異常がないか、確認してください。
- 極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様にベルトを装着した上から寒さ対策をしてください。



- 肩ベルト調節ストラップを上を引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前にゆっくり引いてください。
- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。



## ご使用になる前に

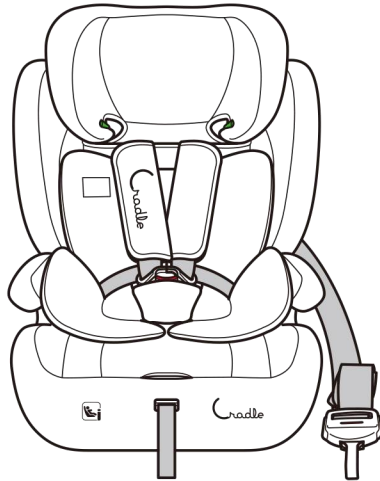
### ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方

※体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

#### チャイルドシートモード

月齢15カ月以上かつ身長76cm～105cm

- 適応年齢… 15カ月～4歳頃
- 体重の目安… 約9～18kg



ISOFIXコネクタとトップテザーで取り付け、  
本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**でお子様を拘束  
します。

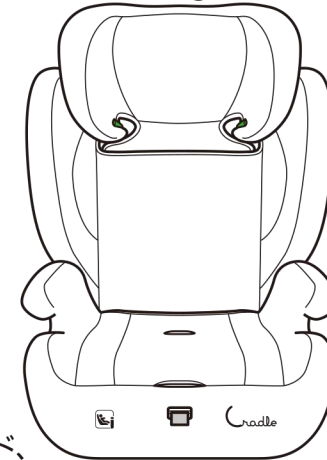


上記の条件を満たさないお子様には、  
絶対使用しないでください。

#### ジュニアシートモード

身長100cm～150cm

- 適応年齢… 3歳頃～11歳頃
- 体重の目安… 約15～36kg



肩・腰ベルト、  
バックル、パッド、  
インナークッション等を取り外して使用します。

ISOFIXコネクタで取り付け、  
車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。

ISOFIX取付金具の付いていない座席、本装置と車両のバックルが取り  
付けできない場合は、3点式シートベルトのみでも使用できます。ただし  
助手席には使用しないでください。



上記の条件を満たさないお子様には、  
絶対使用しないでください。

# ご使用になる前に

## ISOFIX+トップテザーで取り付けできる座席

ISOFIX取付金具とテザーアンカーが装備されていて、車両の『取扱説明書』にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記のマークがある座席。

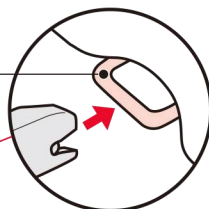
※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の『取扱説明書』をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。

本装置のISOFIXサイズクラスは右記になります。車両の『取扱説明書』または車両をご購入された販売店に対応状況をご確認ください。

	チャイルドシートモード	ジュニアシートモード
サイズ等級	B1	
固定具	ISO/F2X	ISO/B2



### ISOFIX 取付金具



#### 補足

ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

本装置の上部をテザーアンカーに固定して、衝突時の安全性を高めます。

※ジュニアシートモードでは、トップテザーは使用しません。

テザーアンカーの位置を示すマーク  
※車両によっては付いてないものもあります。



### テザーアンカー

#### 補足

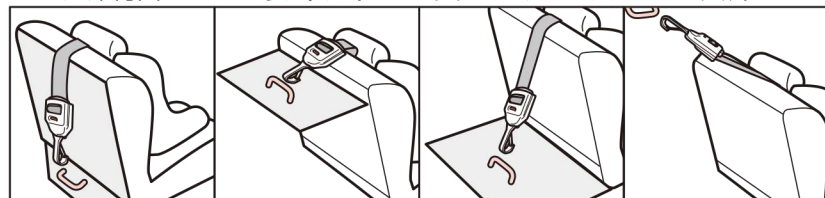
車両により設置位置が異なります。車両の『取扱説明書』を参照してください。

座席背面

リアトレイ

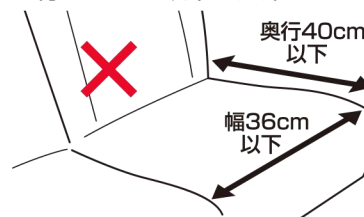
ラゲージスペース

天井



## 取り付けできない座席

●座面の幅が36cm以下、座面の奥行きが40cm以下の座席。



●エアバッグが装備されている座席。  
※サイドエアバッグや、カーテンエアバッグのみの座席にはご使用いただけません。



●運転操作や、視界の妨げになる座席。

●本装置が車両のドアトリム等に干渉して、ドアを閉めることができない座席。

●ピラーなどに接触して正しく取り付けできない座席。

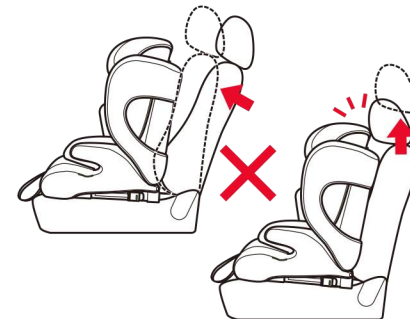
●緊急時に同乗者が脱出する際、妨げになる座席。

●本革シートの座席。

※シートを傷めるおそれがあるため、そのまま本装置を取り付けしないでください。取り付ける場合は、必ず保護マット(別売)等を敷いてからお取り付けください。

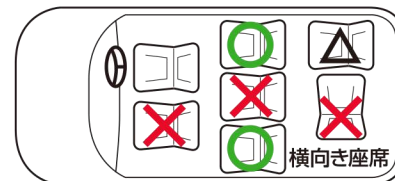
●座席と本装置の背もたれとの間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストと本装置が干渉して、固定が不安定になる座席。

※座席の背もたれを起こしたり、ヘッドレストを上下に調節したり外すことで、取り付けることができる場合があります。



●助手席には取り付けないでください。

●進行方向に対して横向きや後ろ向きの座席。



○ 取り付け可能 × 取り付け不可

△ ジュニアシートモードのみ  
取り付け可能

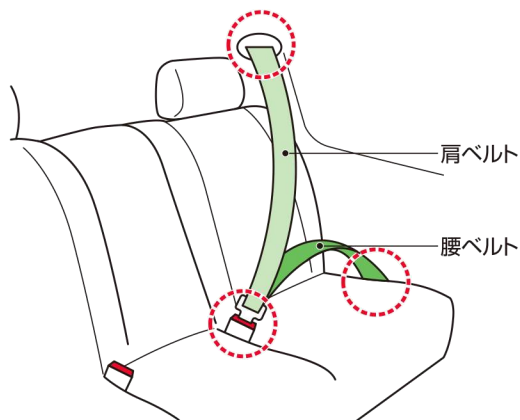
※ISOFIX取付金具が、装備された座席の場合は○。

※弊社では、3人掛け中央座席の適合確認はおこなっていません。

# ご使用になる前に

## 取り付けできる3点式シートベルト(ジュニアシートモード使用時)

必ず3点式シートベルトをご使用ください。  
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



### 3点式シートベルトの種類



**ELR緊急ロック式**  
〈巻き取り機能付〉

ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。



**ALR/ELR**  
〈チャイルドシート固定機能付〉

すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。



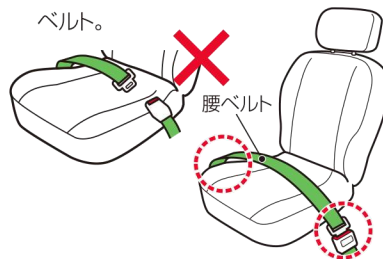
**その他**

上記にあてはまらないシートベルトは、ジュニアシートモードで、ご使用いただけません。

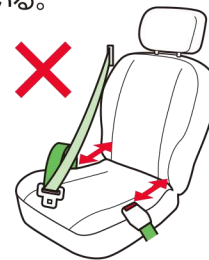
※ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

## 取り付けできないシートベルト(ジュニアシートモード使用時)

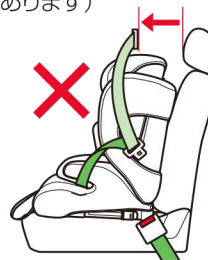
- シートベルトが装備されていない。
- 2点式シートベルト。  
※ 腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも約10cm以上前に出ている。



- 肩ベルトの出口が座席より前にある。(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります)



- 自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)\*が、装備されている。  
※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。



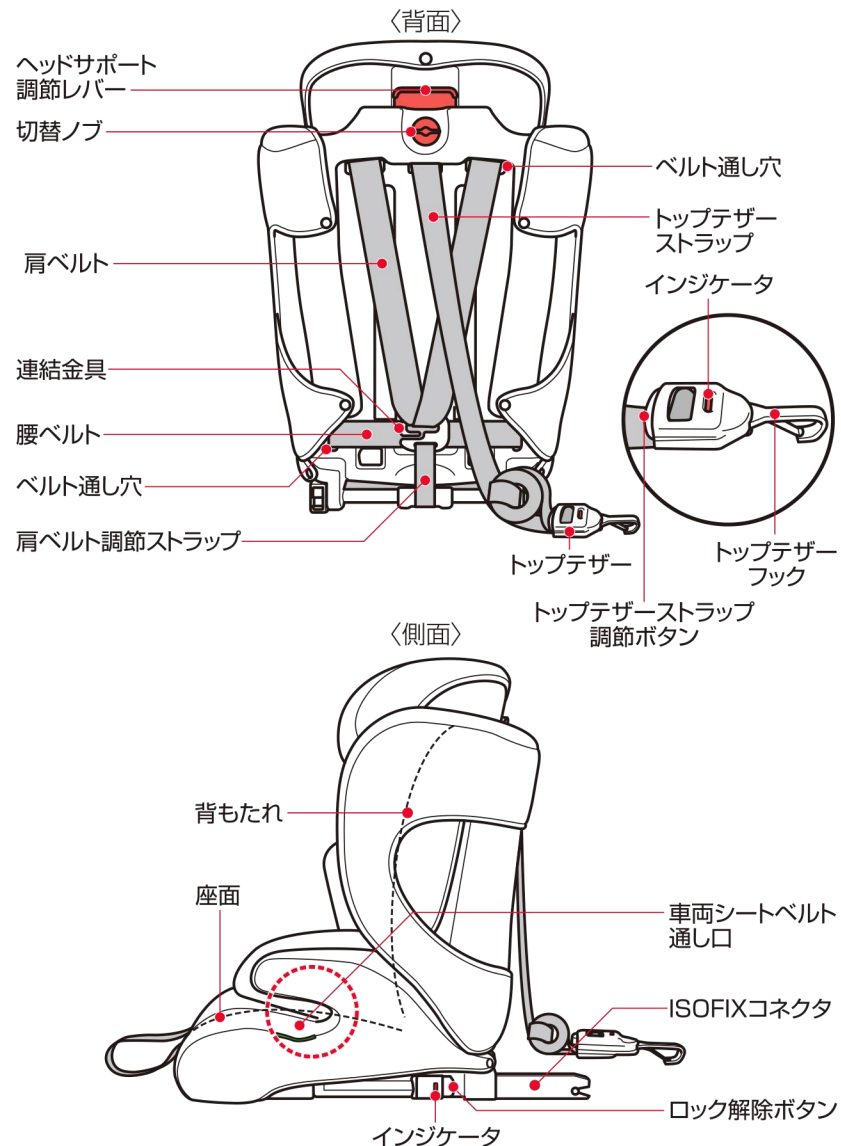
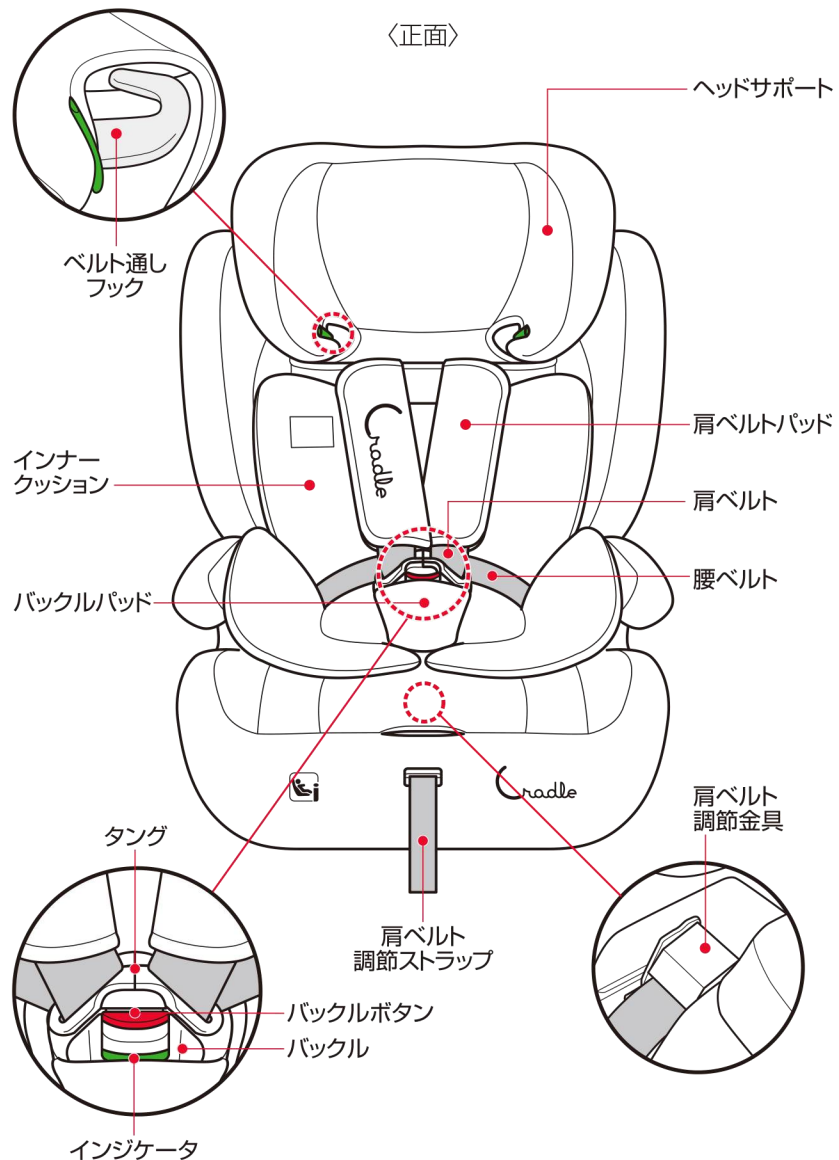
- 腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている。



- 受け側のバックルベルトの長さが約15cm以上ある。(車両のバックルやタンクが本装置とあたり、しっかり締め付けができません。)



# 各部の名称

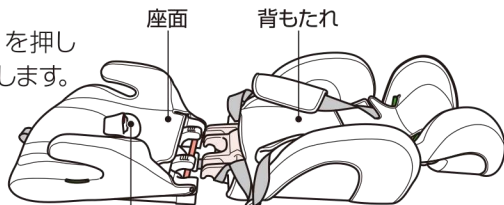




## 組み立て方

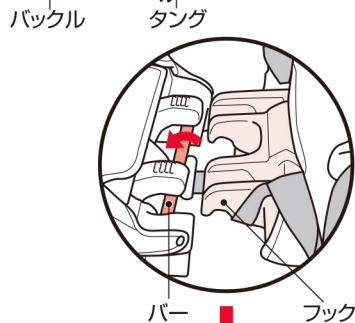
1

バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。(P16参照)



2

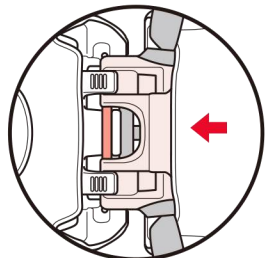
インナークッションを取り外します。座面と背もたれを持ち上げながら、座面のバーと背もたれのフックを合わせます。



**注意** 組み立てる前に、ベルトがねじれていないか、背もたれと座面の間にベルト・タングが挟まれているかを確認してください。

3

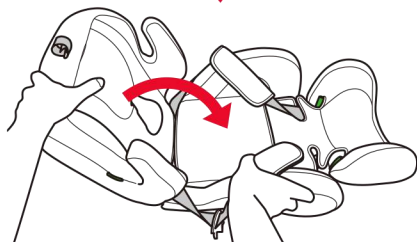
背もたれを軽く押さえながら、座面をゆっくり引き上げます。インナークッションを取り付け、左右のタングを合わせ、バックルに差し込みます。



**注意** 引き上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実に差し込んでから引き上げてください。無理に引き上げると破損のおそれがあります。

**補足**

組み立てた背もたれと座面は固定されていませんので、倒れやすくなっています。また車両の座席に設置する際、座面と背もたれの接合部に指を挟まないようにご注意ください。

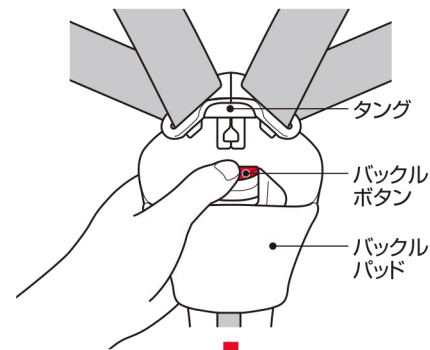


## 各部の使い方

### バックル・タング

#### ●ロックを解除する

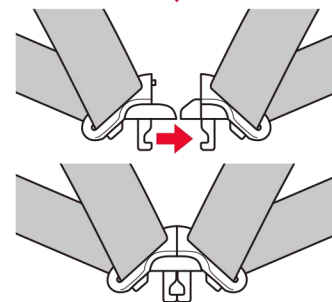
バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を下に押して、タングをバックルから解除します。



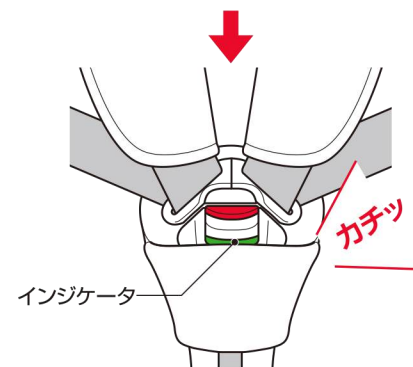
#### ●ロックする

左右のタングを合わせます。

バックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



※ロックすると、緑色のインジケータが表示されます。



**警告** バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、緑色のインジケータが表示されていることを確認してください。



**注意** タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

**補足**

バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。

# 各部の使い方

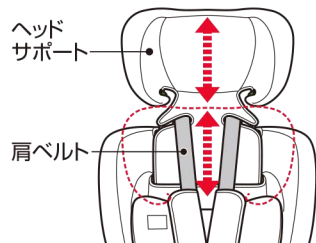
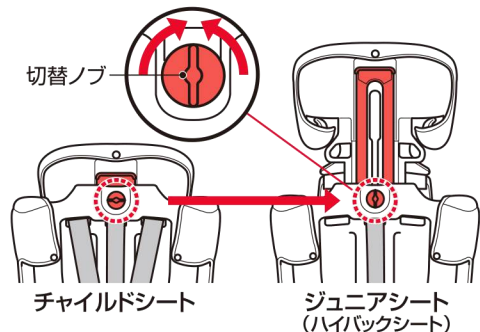
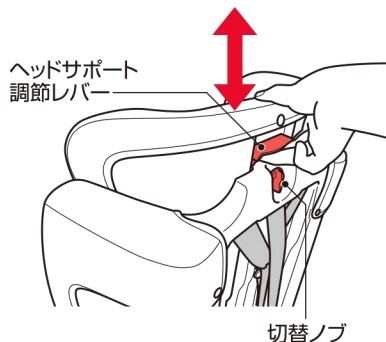
## ヘッドサポート

### ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節方法と高さ調節の目安

肩ベルトが緩んでいるか確認し、ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。

お子様の身体に合った位置に調節してください。

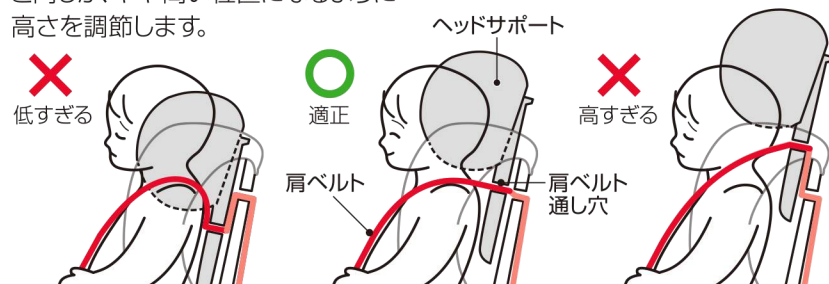
ハイバックシートとしてご使用になる場合は、切替ノブを回して(下図)ヘッドサポートを引き上げてください。



**補足** 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節をしてください。

### ●高さ調節の目安

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



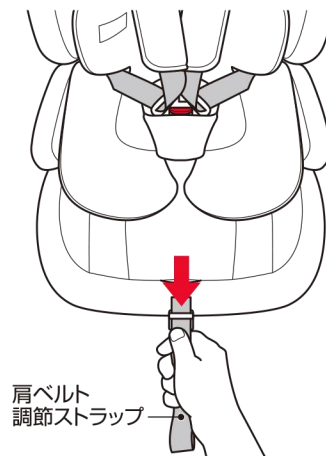
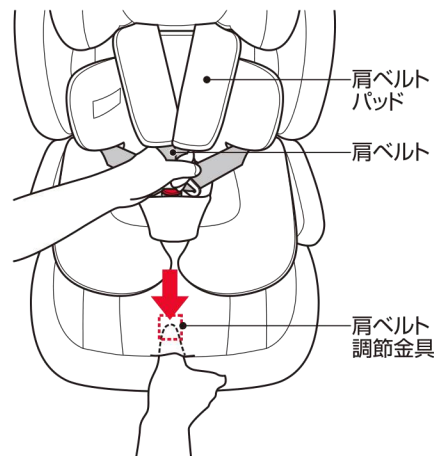
## 肩ベルト

### ●肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張ります。

### ●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



**注意** 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



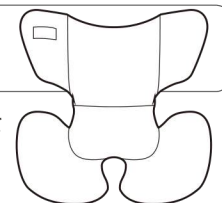
**補足** 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## インナークッション

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表: ニット生地(柔らかい肌触りです)  
裏: メッシュ生地(通気性に優れています)

●身長が76~87cmまでは、必ずインナークッションを付けてご使用ください。  
87cmを超えたら取り外してください。



## 各部の使い方

### ISOFIX



#### ●引き出し方

ロック解除ボタンを押しながら、ISOFIXコネクタを目一杯引き出します。

※インジケータは赤色です。

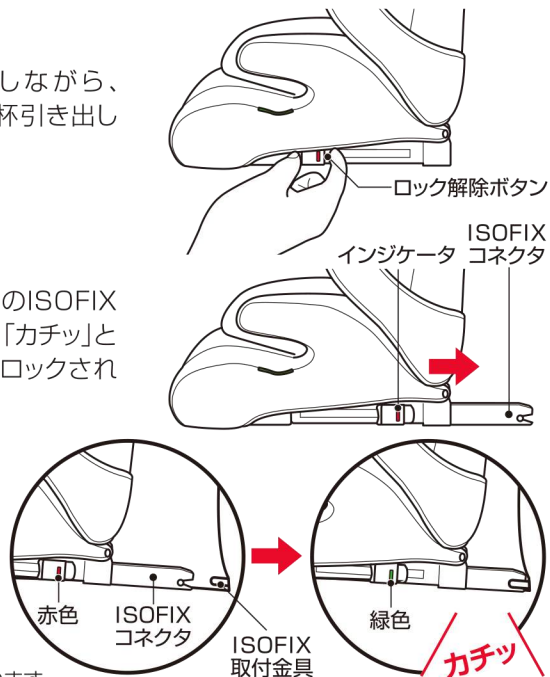
#### ●取り付け方

ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタの位置を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくりと押し込んでください。

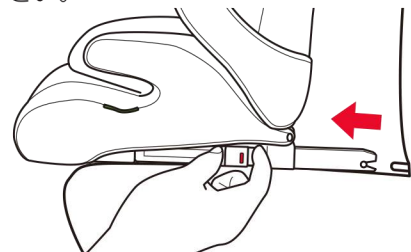
確実にロックされているか、本体を前後に軽く揺すって確認してください。

※インジケータは緑色に変わります。



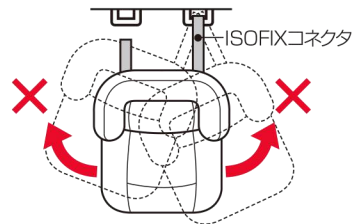
#### ●取り外し方

ロック解除ボタンを押しながら、ISOFIXコネクタを引き戻してください。



#### ⚠注意

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体を左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



## トップテザー

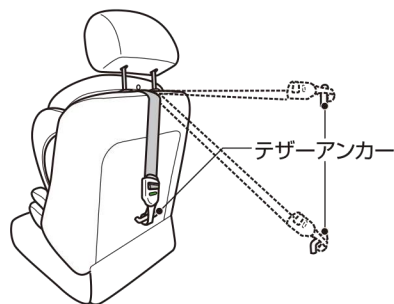
#### ●緩め方

トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩めます。

※インジケータは赤色。

#### ●取り付け方

トップテザーフックを、テザーアンカーに取り付けます。

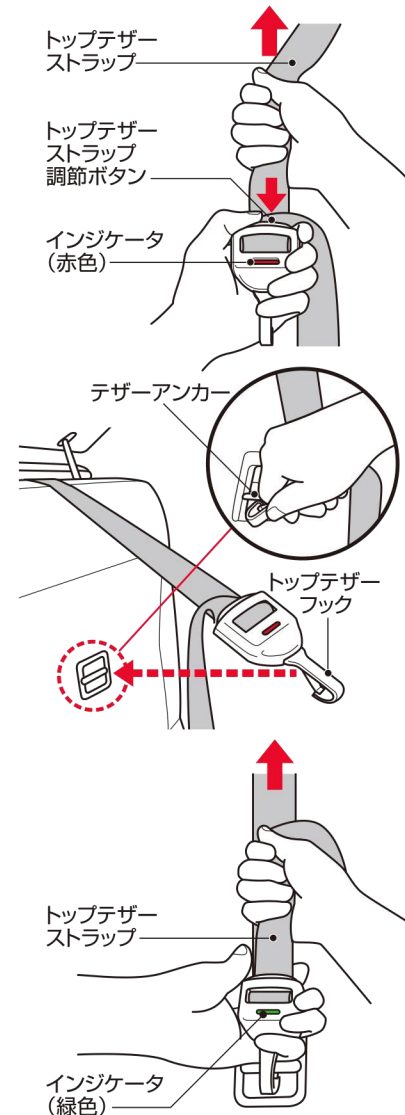


※車両によってテザーアンカーの位置が異なりますので、車両の「取扱説明書」で確認してください。

#### ●締め方

手前のトップテザーストラップを引っ張り、インジケータが緑色に変わるまで締め付けます。

※インジケータが緑色。  
(締め付けが適正な状態)

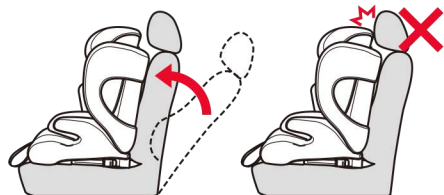


# チャイルドシートモードとしての使い方

## ISOFIXコネクタ+トップテザーを取り付けて使用する

### ●取り付け作業前にスペースの確保

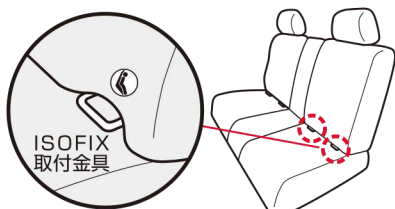
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



**注意** 取り付ける際は、座席の背もたれを起こしてください。座席のヘッドレストが本装置に当たる場合は、上にあげるか取り外してください。

### 1

車両の座席の背もたれの下部分を少し押し上げて、ISOFIX取付金具の位置を確認してください。



### 2

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタを目一杯引き出してください。

※インジケータは赤色です。



### 3

車両の座席に本装置を置き、トップテザーを本装置の座面に置か、座席のヘッドレストを引き上げ、背もたれ背面に通しておきます。



### 4

ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタの位置を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

※左右のインジケータが、赤色から緑色に変わります。

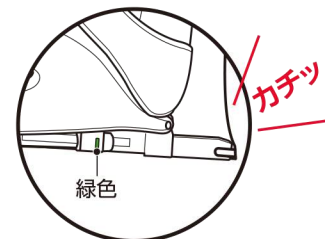


### 5

本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。

確実にロックされているか、座面を前後に軽く揺すって確認してください。

※インジケータが緑色。  
(締め付けが適正な状態)

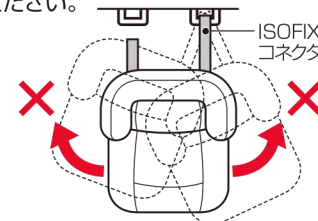


**補足** 強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますので注意してください。

**警告** 決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けしないでください。お子様を座らせた際に頭頂部がヘッドサポートから出ないように、高さを調節してください。

### 注意

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



# チャイルドシートモードとしての使い方

## ISOFIXコネクタ+トップテザーを取り付けて使用する

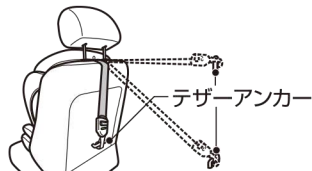
6

トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩めます。

※インジケータは赤色。

7

トップテザーフックを、テザーアンカーに取り付けます。



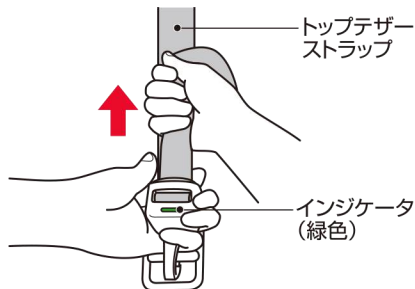
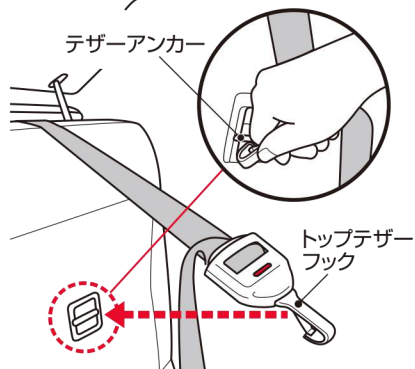
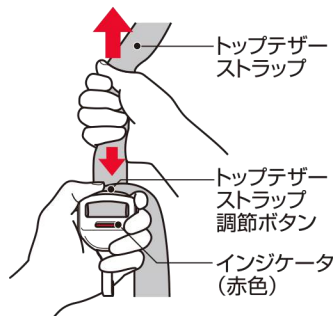
※車両によってテザーアンカーの位置が異なりますので、車両の「取扱説明書」で確認してください。

8

手前のトップテザーストラップを引っ張り、インジケータが緑色に変わるまで締め付けます。

※インジケータが緑色。  
(締め付けが適正な状態)

●締め付ける方向

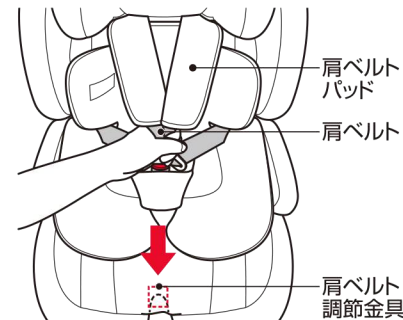


左右のISOFIXコネクタをISOFIX取付金具に確実に差し込み、固定してください。固定されていないと重大な事故・傷害を受けるおそれがあります。

## お子様の乗せ方

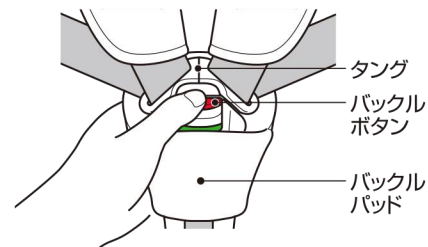
1

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。

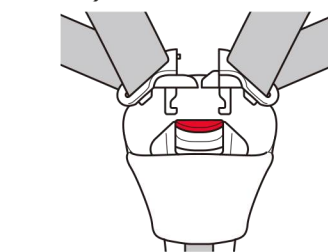
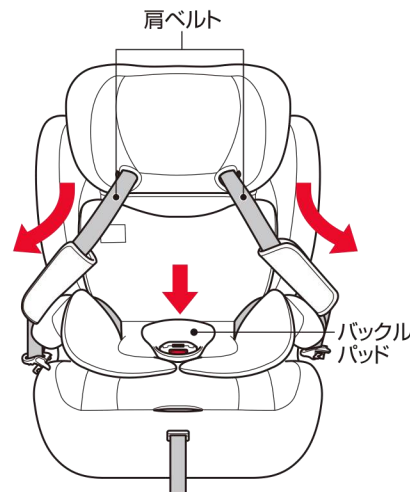


2

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タンクをバックルから解除します。



肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。



バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

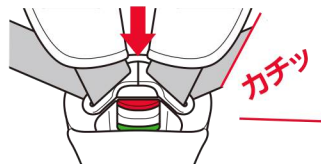
# チャイルドシートモードとしての使い方

## お子様の乗せ方

3

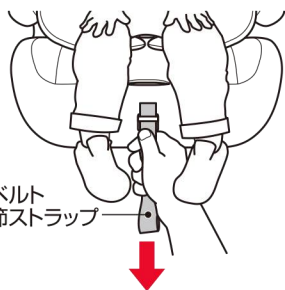
バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。

左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルパッドを引き上げます。



4

肩ベルトに緩みがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、確実に固定されている(緑色の表示)ことを確認してください。



肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

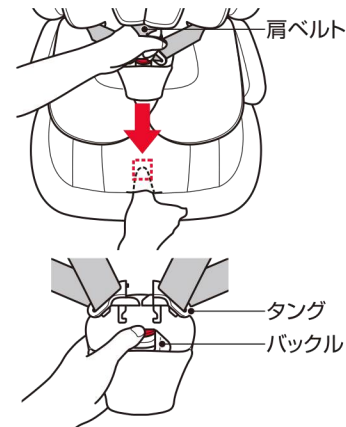
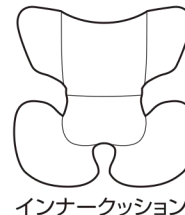
# ジュニアシートモードとしての使い方

## ご使用になる前に

インナークッション、肩・腰ベルト等を取り外します。

肩ベルトを緩め(P18参照)、タングをバックルから解除(P16参照)します。

インナークッションを取り外します。

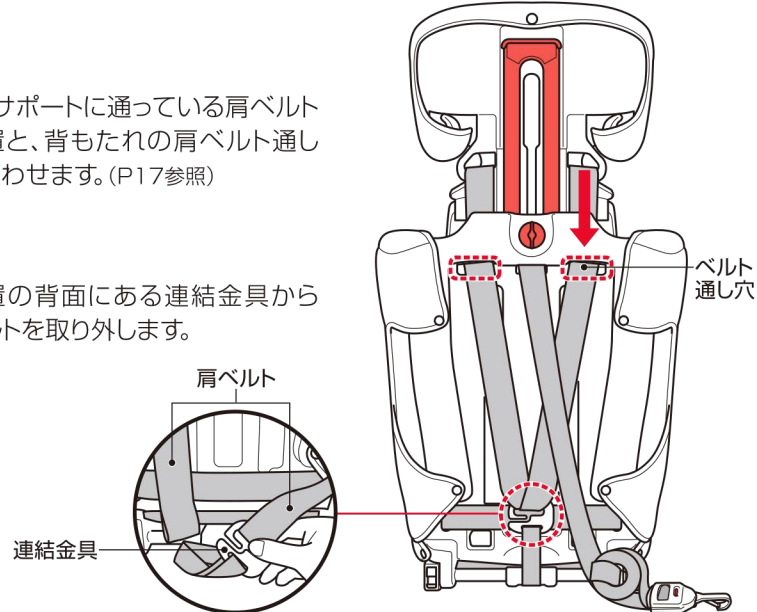


1

ヘッドサポートに通っている肩ベルトの位置と、背もたれの肩ベルト通し穴に合わせます。(P17参照)

2

本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外します。



# ジュニアシートモードとしての使い方

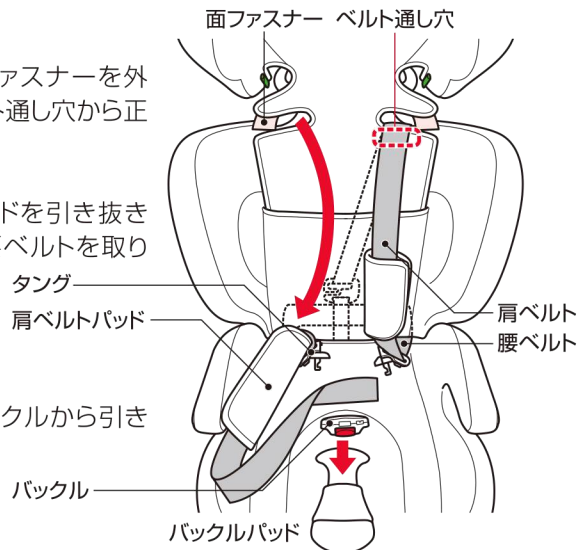
## ご使用になる前に

3

ヘッドサポートの面ファスナーを外して、肩ベルトをベルト通し穴から正面に引き出します。

タングと肩ベルトパッドを引き抜きます。本体から、肩・腰ベルトを取り外します。

バックルパッドを、バックルから引き抜きます。

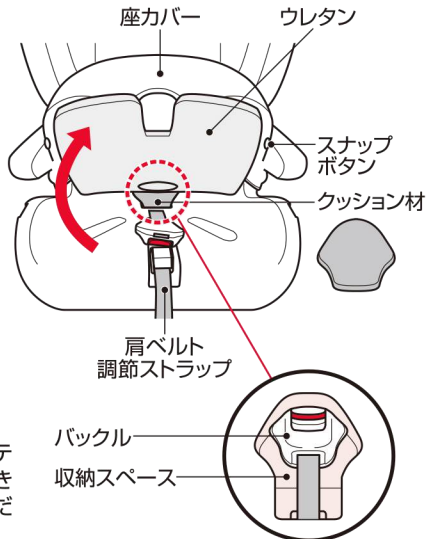


4

座カバー前側のスナップボタン(2カ所)を外し、肩ベルト調節ストラップとバックルを座カバーの内側に引き出します。

座カバーの前側とクッション材を引き上げ、ウレタンを取り外し、収納スペースにバックルを収納します。

クッション材を戻し、座カバーに肩ベルト調節ストラップを通し、スナップボタン(2カ所)を付け、座カバーを取り付けます。

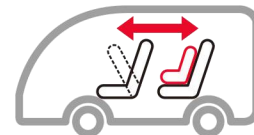


肩ベルト調節ストラップ・トップテザーストラップは本装置から引き抜かず、小さく折りたたんでください。

## ISOFIXコネクタ+3点式シートベルトを併用して使用する

### ●取り付け作業前にスペースの確保

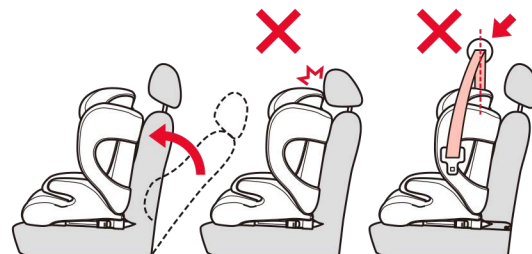
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



取り付けの際は、座席の背もたれを起こしてください。

座席のヘッドレストが本装置に当たる場合は、上にあげるか取り外してください。

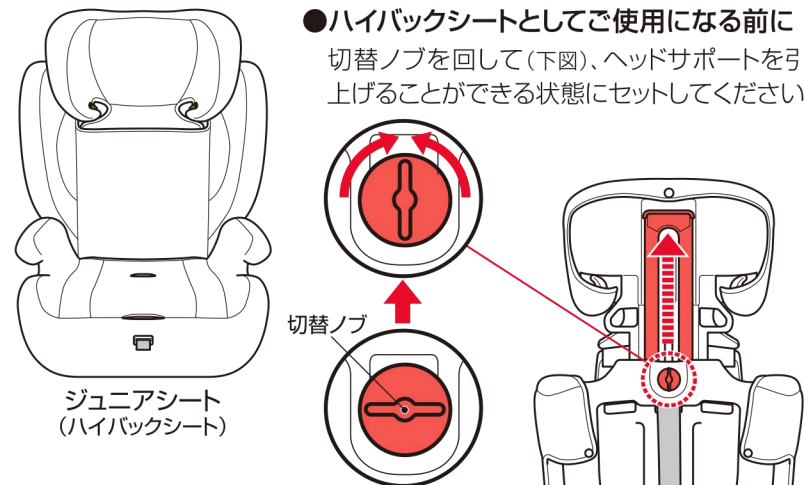
座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。



●ジュニアシートは、ISOFIXと3点式シートベルトの併用を推奨しますが、3点式シートベルトのみでもご使用いただけます。

### ●ハイバックシートとしてご使用になる前に

切替ノブを回して(下図)、ヘッドサポートを引き上げることができる状態にセットしてください。



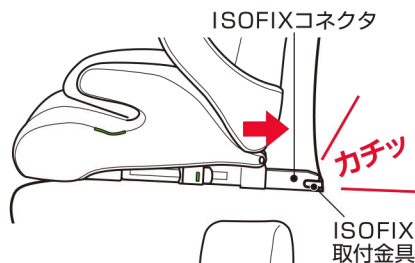
# ジュニアシートモードとしての使い方

## お子様の乗せ方

1

車両の座席に本装置を置きます。ISOFIX 取付金具に左右のISOFIX コネクタの位置を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

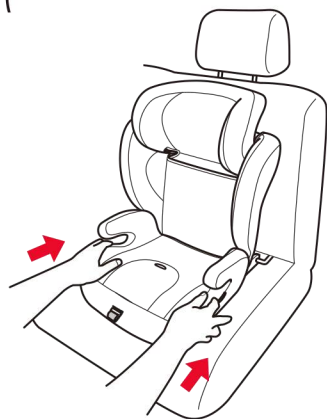
※左右のインジケータが、赤色から緑色に変わります。



2

本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。

確実にロックされているか、本体を前後に軽く揺すって確認してください。



3

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートをお子様の頭の高さに合わせます。(P17参照)

ベルト通しフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。

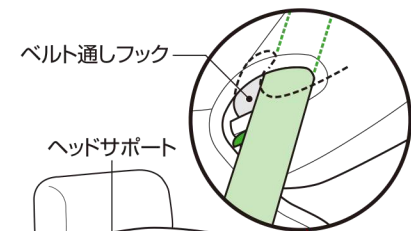


決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けしないでください。お子様を座らせた際に頭頂部がヘッドサポートから出ないように、高さを調節してください。



お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるように注意してください。

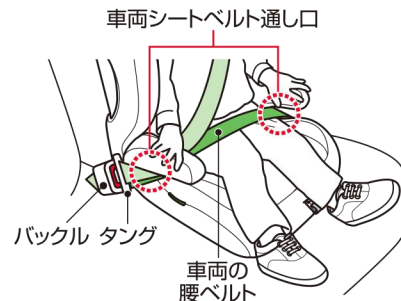
**補足** 強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますので注意してください。



4

車両の腰ベルトは左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。

タングをバックルに差し込んで本装置を固定します。



5

車両の腰ベルトを引っ張り(㉑)、車両の肩ベルトを巻き戻して(㉒)ください。



**注意** お子様に乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

### セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされている。
- 車両のシートベルトに、ねじれがない。
- 車両の肩ベルトが、ベルト通しフックに通してある。
- 左右の車両シートベルト通し口に、車両のシートベルトがしっかりと掛かっている。



**警告** 上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

### お子様の降ろし方

バックルボタンを押して、ベルト通し口から車両のシートベルトを外し、お子様を降ろします。

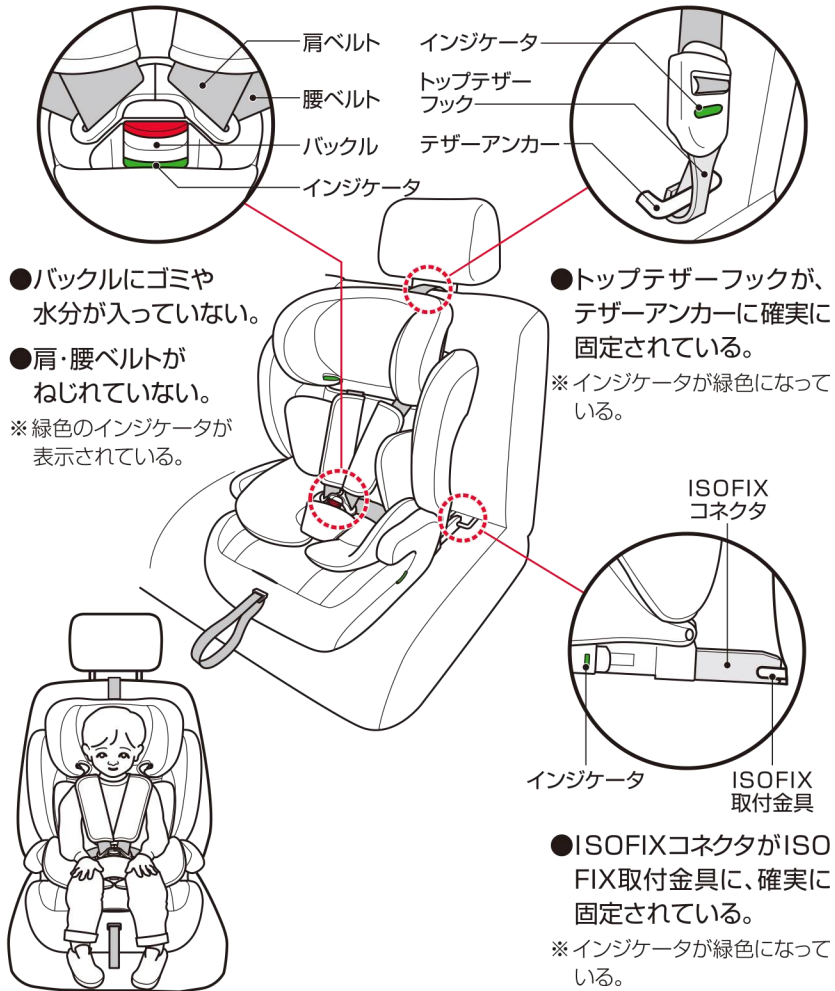
ISOFIXを使用されていない場合は、タングをバックルに差し込んで本装置を固定してください。



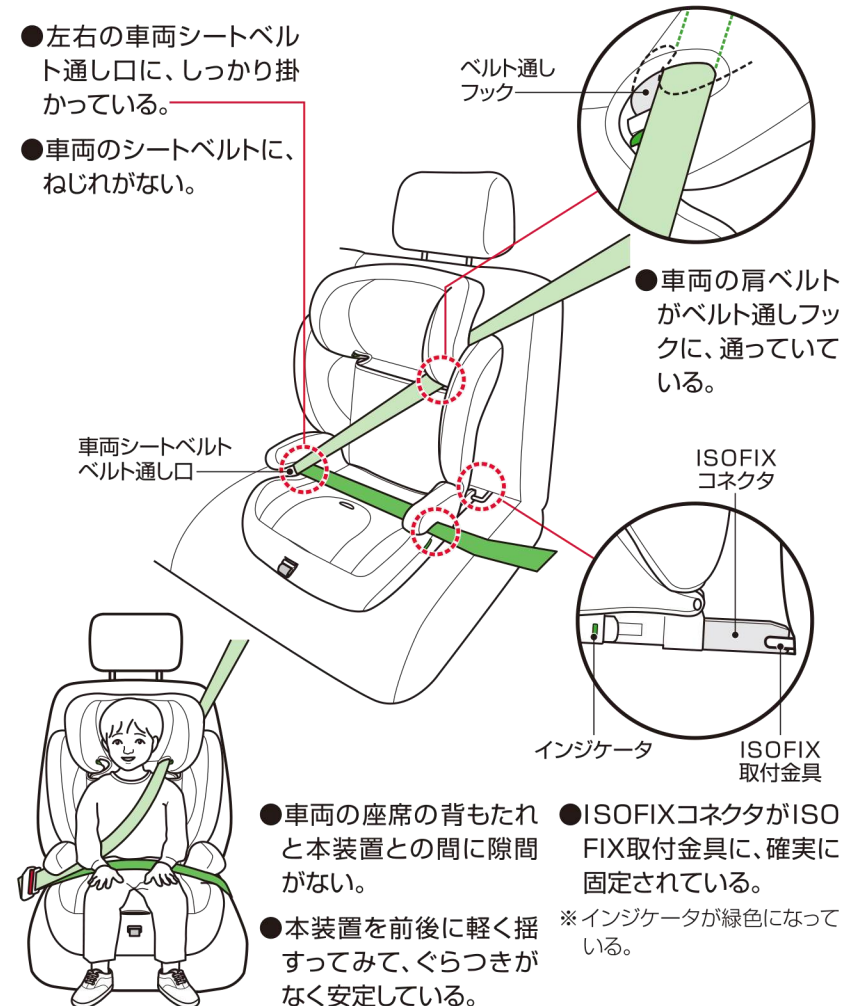
## ご使用前の日常点検

ご使用の前に、本装置が車両に確実に取り付けられているか、必ず以下の項目を確認していただいた上でご使用ください。

### チャイルドシートモードとして使用する場合



### ジュニアシートモードとして使用する場合



# お手入れのしかた

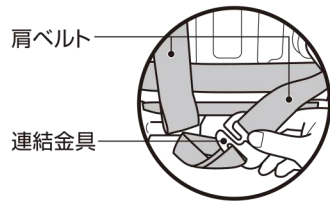
## カバー類の取り外し方

### ●肩・腰ベルトを取り外す

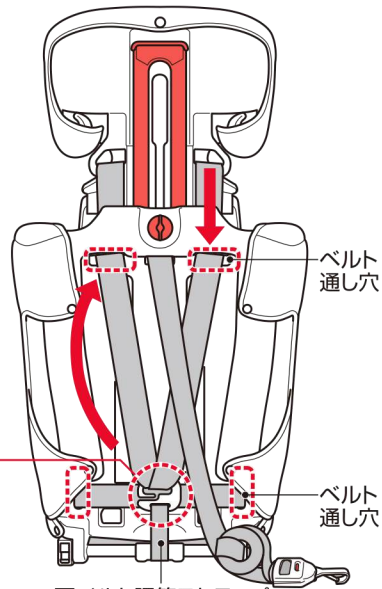
肩ベルトを緩め(P18参照)、タングをバックルから解除します。(P16参照)

ヘッドサポートに通っている肩ベルトの位置と、背もたれの肩ベルト通し穴に合わせます。(P17参照)

本装置の背面にある連結金具から左右の肩ベルトを取り外します。



ヘッドサポートの面ファスナーを外して、肩ベルトをベルト通し穴から正面に引き出します。



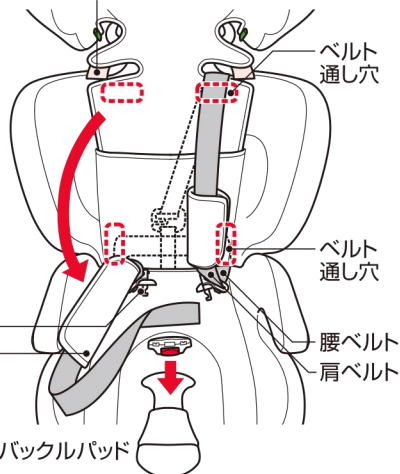
### ●パッド類を取り外す

肩ベルトパッドとタングを引き抜き、本装置から肩・腰ベルトを取り外します。

バックルパッドをバックルから引き抜きます。

タング

肩ベルトパッド



**注意** 肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

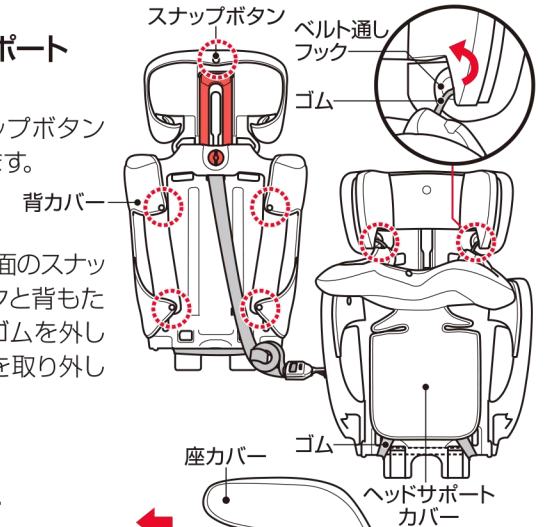
ヘッドサポートを引き上げます。(P17参照)、背もたれを押さえ、座面をゆっくり引き下げ、背もたれと座面を外します。



### ●背カバーとヘッドサポートカバーを取り外す

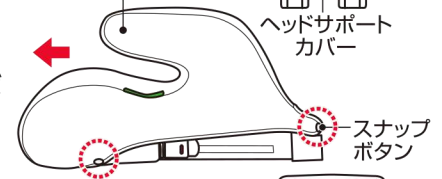
背カバーは、背面のスナップボタン(4カ所)を外して取り外します。

ヘッドサポートカバーは、背面のスナップボタンとベルト通しフックと背もたれの下部に掛かっているゴムを外して、ヘッドサポートカバーを取り外します。



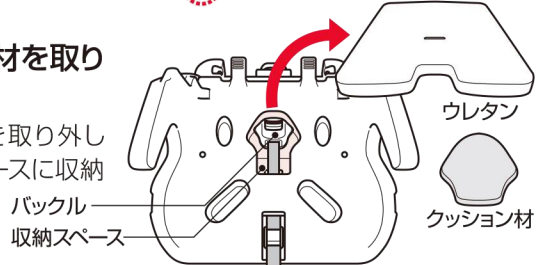
### ●座カバーを取り外す

座カバーは、座面側面のスナップボタン(4カ所)を外して取り外します。



### ●ウレタン・クッション材を取り外す

ウレタンとクッション材を取り外します。バックルは収納スペースに収納します。



# お手入れのしかた

## カバー類の取り付け方

### ●座カバーを取り付ける

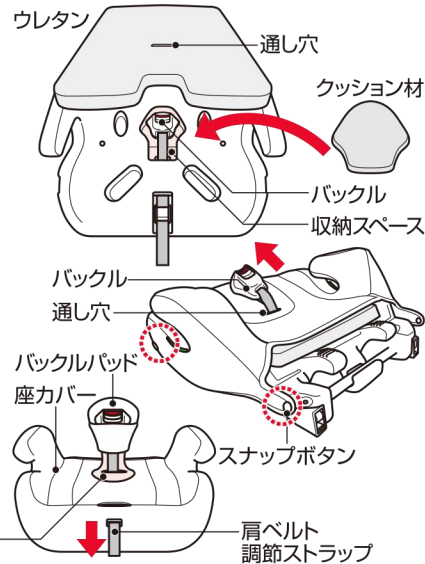
バックルを収納スペースから取り出し、収納スペースにクッション材を入れ、ウレタンを座面に置きます。

肩ベルト調節ストラップを座カバーに通し、バックルをウレタンと座カバーの通し穴から引き出します。

座カバーは、座面側面のスナップボタン(4カ所)で固定します。

バックルパッドをバックルに取り付けます。

※バックルパッドの下の部分は、座カバーの中に押し込みます。

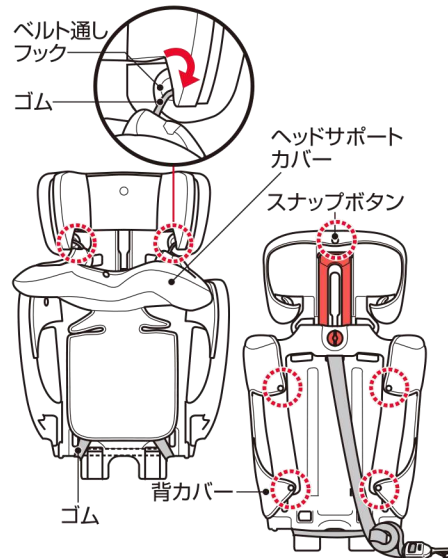


### ●ヘッドサポートカバーと背カバーを取り付ける

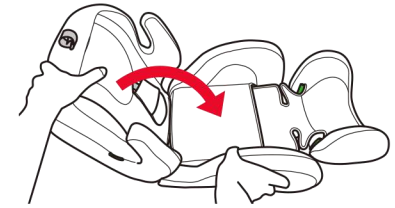
ヘッドサポートカバーは、背もたれの下部にゴムを掛けて、ヘッドサポートカバーのゴムをベルト通しフックに掛けます。

背面のスナップボタンを付けて、ヘッドサポートカバーを取り付けます。

背カバーを取り付け、背面のスナップボタン(4カ所)を付けて取り付けます。

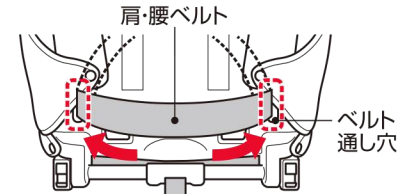


背もたれと座面を組み立てます。(P15参照)

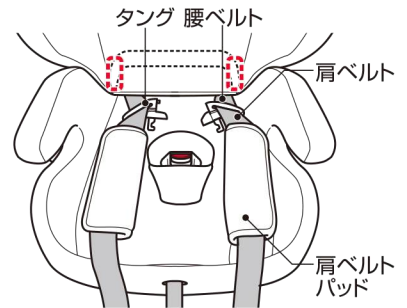


### ●肩・腰ベルトを取り付ける

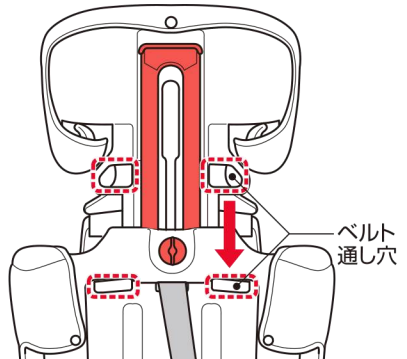
背面から下側のベルト通し穴に肩・腰ベルトを通して、正面に引き出します。



引き出した肩・腰ベルトに、タングと肩ベルトパッドを通します。



ヘッドサポート調節レバーを上下させて、ヘッドサポートのベルト通し穴と、本体のベルト通し穴の位置を合わせます。



### 補足

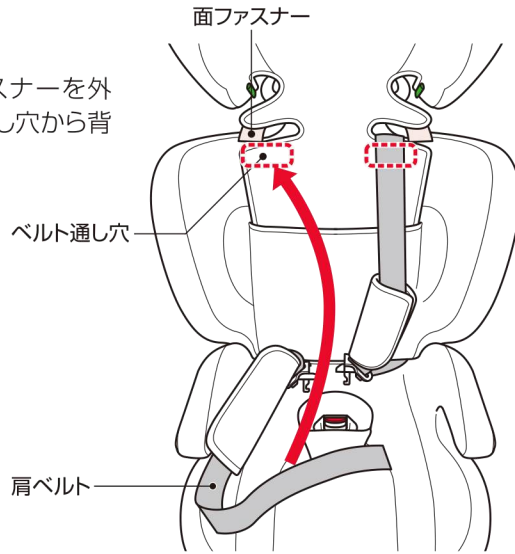
ベルトにねじれがないか、左右のタングを合わせ、タングの向きが正しいかを確認してください。

# お手入れのしかた

## ベルトの取り付け方

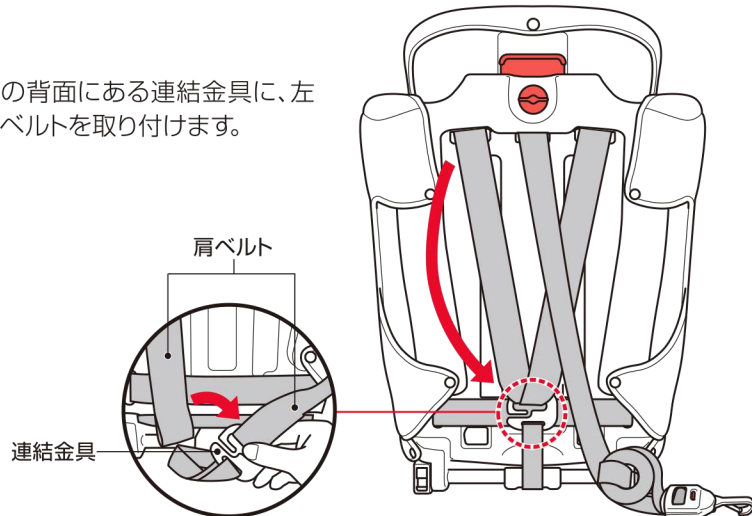
1

ヘッドサポートの面ファスナーを外して、肩ベルトをベルト通し穴から背面に通します。



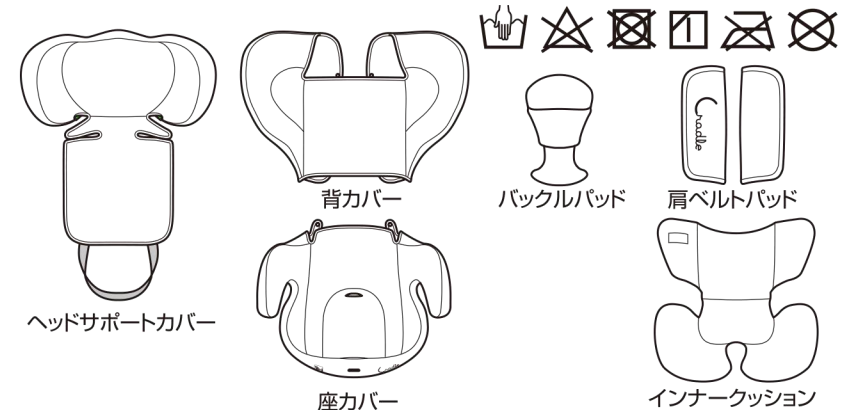
2

本装置の背面にある連結金具に、左右の肩ベルトを取り付けます。



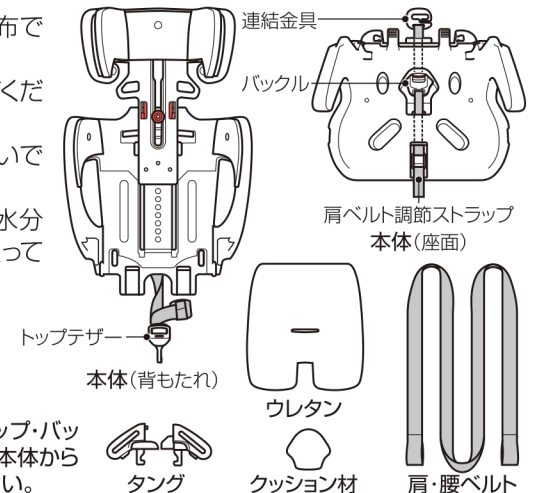
## カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。



## 本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



**注意** 肩ベルト調節ストラップ・バックル・トップテザーは、本体から取り外さないでください。

## 困ったときは

弊社ホームページ「よくあるご質問 Q&A(QRコード→)」をご覧ください。

### チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

- 座面を前後に軽く揺すり、本装置の座面と車両のシートから3cm以上ズレないかを確認してください。
- 車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前に起こしたりすることで、しっかり固定できる場合があります。

### 肩ベルトが緩まない。

- 組み立てたときに肩ベルト調節ストラップがねじれていませんか？本装置を車両から取り外して、ねじれないか確認後、再度組み立ててください。  
※ねじれがある場合は、ねじれを直してから組み立ててください。

### ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから高さを調節してください。

### シートベルトで取り付けたが、緩みやたるみがとれない。

- 本装置を車両の背もたれに押しつけて隙間をなくし、腰ベルト、肩ベルトの順に巻き戻して緩みやたるみを取ってください。

### バックルにタンクが入らない。

- バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタンクが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタンクを数回抜き差ししてください。

### 肩ベルトがねじれて、タンクが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタンクを通してください。

### 運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認いただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできることでより安全です。



解決しない場合は、「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。

### 子どもの服が厚いためか、身体が窮屈そう。

- 肩ベルトを緩めて調節をしてください。(P18参照)
- インナークッションを取り外してください。

### 肩ベルトがきつい。

- インナークッションを取り外してください。
- 肩ベルトの高さがお子様の肩の位置に合っていますか？  
ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の高さを確認してください。(P17参照)

### カバー・パッド類やインナークッションを新たに購入したい。

- 弊社ホームページ([www.ca-sansho.co.jp](http://www.ca-sansho.co.jp))からご購入ください。または「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

### 取扱説明書をなくしてしまった場合はどうしたらいいのか。

- 本装置の『取扱説明書』は、弊社ホームページ([www.ca-sansho.co.jp](http://www.ca-sansho.co.jp))をご覧ください。

### ISOFIXを取り付けたら、座面の前が浮いているけど大丈夫？

- 座面と車両の座席の隙間に手のひらが入る程度であれば問題ありません。それ以上であれば、背もたれを起こして再度取り付け直してください。お子様を乗せて、座面が座席に接地していることをご確認ください。

### ISOFIXをうまく差し込むことができない。

- ISOFIXコネクタを、目一杯引き出してから差し込んでください。
- ISOFIX取付金具のまわりに、シート生地等が挟まっていないかご確認ください。

### 廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

## 保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
  - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
  - 縫製部品の傷やひびき、変色。
  - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
  - 有償修理時に要する発送費。
  - 保証書および販売証明書のご提示がない場合。
  - 部品の紛失。
  - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
  - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
- ④ 原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様（贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方）にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合（リサイクルショップやネットオークション等含む）、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。

※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。

※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

## 保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちに下記記入いただき、レシートまたは販売証明書（ご購入年月日・販売店がわかるもの）と一緒に大切に保管してください。

製品名	クレイドル ハーネスジュニア i-Size	お買い上げ年月日	年	月	日	故障内容記入欄
		保証期間	お買い上げ日より			
お客様	お名前	TEL				
	ご住所					
販売店	店名	TEL				
	住所					

●万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。

●ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。

●本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。